

2026年8月16日

11月祭事務局

第68回京都大学11月祭全学実行委員会への提案

1. 議事（案）

- (1) 第68回京都大学11月祭の統一テーマについて(案)
- (2) 第68回京都大学11月祭における酒類取扱規則(案)
- (3) 第68回京都大学11月祭における外部団体との連携に関する規則(案)

2. 第68回京都大学11月祭の統一テーマについて(案)

統一テーマ投票の結果、以下が得票数で1位となった。よってこれを第68回京都大学11月祭の統一テーマ及び趣意文とすることを提案する。統一テーマの発表は8月19日を予定している。

統一テーマ：うんち

趣意文：便とは、体の送る便りである。我々の体内を通りその営みの多くを見届けた、我々ひとりひとりの歴史の証人である。一度出てしまえばまずもって再び我々の一部と見なされることはないし、当然その限度こそあるが、彼らを隈なく観察することでそれまでの我々の歩みを、生きた様を推し量れるのもまた事実である。京都大学という大きな一つの生物を俯瞰した時に、それが排泄するものとは一体何であるか。我々である。入学を以て我々は食べられた。そして大学を卒業なり退学なりした時点で、我々は最早京大生ではない。だがしかしその身には、京都大学という生物がいかにもその歩みをその時代に進めてきたかが克明に刻まれている。学祭という一大催事は、その刻まれるべき歩みにとって際立って大きな数日となろう。故にこそ我々は、この催しを通じてこの大学の良さを伝えられる便りとなろう。いずれ京都大学のうんちとなる全ての者に、この数日だけでもこの場所を訪れてうんちとなる全ての者に、多大なる幸運ちのあらんことを。

3. 第68回京都大学11月祭における酒類取扱規則(案)

(別紙1参照)

4. 第68回京都大学11月祭における外部団体との連携に関する規則(案)

(別紙2参照)

事例集について、次回の全学実行委員会で審査することを予定しているが、数が多くなることが予想されるので、あらかじめPENGUIN上に掲載する。参加者の方には事前に目を通していただきたい。